



2年学年だより

発行日：令和4年3月24日（木）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 11

学校は失敗をする場

校長代理 富樫 哲一

今年度最後の学年だよりとなりました。新型コロナウイルス感染症については、引き続き予断を許さない状況が続いています。しかしながら、まん延防止等重点措置が解除されましたので、気持ちの面では幾分晴れやかな気持ちで卒業式、修了式を迎えることができるのではないのでしょうか。

さて、この新型コロナウイルスの流行に限らず、現在世界ではロシアのウクライナへの軍事侵攻など先行き不透明な現状があります。また、こうした不透明な状況は今後も続くことでしょう。このような社会情勢の中で、日本の社会全体が成長期のときに大人だけではなく、子どもたちにも浸透していた「頑張れば必ず良い結果が得られる。結果が出ていないのは、努力が足りないだけだ」という価値観だけでは解決できない問題が年々多くなっているように思います。もちろん、学校現場においてもそうした価値観のみでは、将来的に世界で活躍する人材を育成することは難しいと常日頃感じてしまいます。

もしかしたら皆さんの中にも、努力しても思うように結果がでないことから、チャレンジすること、失敗することを避け、「自分が確実にできることや簡単に結果が出ることだけ頑張ればいいや」と考えている人がいるかもしれません。

そこで、4月から新しい環境で生活する皆さんに伝えたいことがあります。今後皆さんが大人になったときに生きていく混沌とした社会において、誰にでも通じる成功の方程式は残念ながらありません。教員としてはとても悔しいですが学校の先生たちも教えることができないのです。

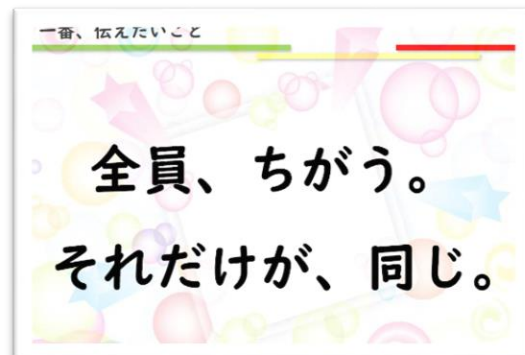
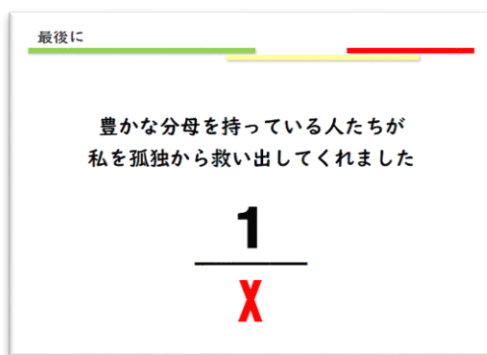
ではどうすればいいか。今の自分にはできないと思うこと、もっと言えば明らかに実現不可能なことではなくちょっと背伸びをすればできそうなことにどんどんチャレンジすることです。もしかしたら失敗をすることがあるかもしれません。でも命にかかわるような失敗でなければ、それでいいのです。どんどんチャレンジして、どんどん失敗しましょう。「失敗は成功の母」という言葉がありますが、失敗を繰り返す体験を多くすることでしか、その人独自の成功の方程式を見つけることはできないように思います。

もしかしたら「学校は失敗する場」ということは、授業や学校行事で先生方から聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。本校は、学校全体で授業等においても生徒個人の意見や考え方を尊重し、「間違ふこと、失敗することも学習活動の大事な一環」という考えで教育活動を行っています。これからも皆さんが「安心して」間違えたり、失敗できるような学校の雰囲気をつくっていきたくて考えています。

最後になりましたが、新しい環境での皆さんのさらなる活躍を心から期待しております。

2022.3.12 EGG講座 「人として生きる」

3月12日の土曜EGGでは、「人として生きる」というテーマでEGG講座を開催しました。講師の鈴木信平さんは普段会社員として働きながら、『男であれず、女になれない』（小学館）という本を著していらっしゃいます。9期生に向けて「からだの性、こころの性、好きになる性、見られたい性」「私のままの私を大切にすること」「人生における勉強することの意義」などをお話ししてくださいました。講座は320教室の鈴木さんと各教室をGoogle Meetでつないで実施し、講座後鈴木さんに4階を回っていただき、各クラスからお礼の言葉を伝えました。9期生の言葉を受けた鈴木さんから、「自分の言葉で一生懸命に感想を伝えてくれてとても嬉しかった。みんなとてもすてき。」と、こちらが嬉しくなるような言葉をいただきました。14歳のピュアな心で聴いて感じたことの一部を紹介します。



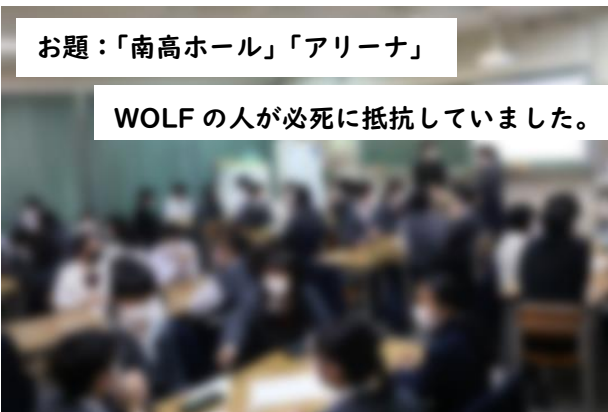
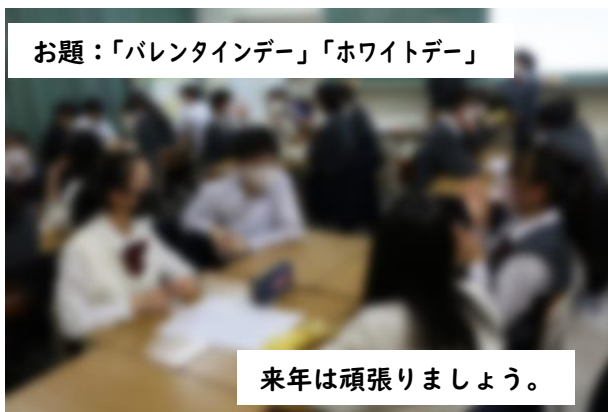
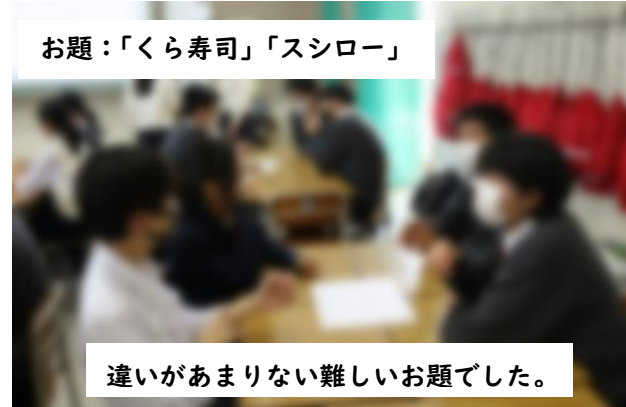
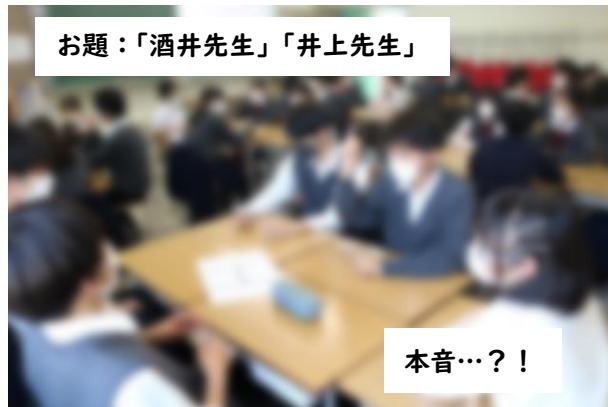
(講座のスライドの一部です)

【感想のほんの一部です…】

- 「違ったままでも手をつなげる」という言葉に胸を打たれた。鈴木信平さんの言っていた、支えてくれた人とは信平さんのまますべてを支えてくれた人で、自分も今後そういう自分のまますべてを支えてくれる人に出会うだろうし、自分自身が支える側になることもあると分かった。自分もできれば支える側になりたいと思った。
- 私は本が好きでいろんな本をたくさん読んできました。本を読むと、人って必ず“何か”に気づかせてくれるなと思います。人によって考えが違うのは当たり前です。同じじゃないから。でも違うからこそ気づくことだったり、楽しくなったり、時には苦しくなったり、色んな感情になります。それがいいのだと思います。
- 信平さんは「あなたの生きやすい社会は、私の生きやすい社会」と言っていて、とても納得した。そうしてLGBTQの人たちのために何ができるだろうという考え方から、自分たちが生きやすい社会って何だろうと考えるようになった。
- タイトルにもなっていた、人生における勉強の意義についての「1/X」は、「分母を増やす」「分子の精度をあげる」ということで、日常生活の色々なことに役立つと思います。自分から積極的にたくさんの方にチャレンジしていきたいと感じました。
- 「男らしさ」「女らしさ」のような考え方をするのではなく、「自分らしさ」を大切にするという言葉に共感しました。これまで僕は、例えばお菓子を上手に作れる友達に対して「女子力高いな」と思ったことが何度もありました。しかしそれは、その人の楽しいこと、得意なこと、好きなことで、その人自身の力、能力なんだなと思えば、何事も互いに認め合える世の中になるなと実感しました。

2022.3.15 クラス間交流レク 「WORD WOLF」

3月15日の学活にクラス間交流レクを行いました。1組は3組と、2組は4組と半数ずつクラスメイトを入れ替えてWORD WOLFをしました。普段クラスが遠くてなかなか話せない友達、初めて話す友達、実は前から少し気になっていたあの友達。いろんな友達と一緒に盛り上がりました。もしかしたら来年、同じクラスになれるかも。クラス替えが楽しみですね。



令和4年度の初日は、4月7日（木）です。

登校時間：8時50分 くすのき広場で、新しい学年名簿を配布します。

持ち物：筆記用具、体育館シューズ、防災カード、保健調査票、歯科保健調査票、連絡票クリアファイル（中身はご家庭で保管ください）

1年間でふりかえって2学年の先生たちより

* * * * *

・ 酒井貴史先生

* 「みんなは学校のアイドルです！」…なんて
* 言われた日から早2年。もう、附属中の最上級
* 生…。時の流れは早すぎる。やるべきことに目
* を向け、きちんと取り組み、カッコ良い学校の
* リーダーになっていこう！！

* * * * *

* * * * *

♪ * * * * *

♪ 小川麻悠子先生

♪ 1年間ありがとうございました。英語の授業も
♪ とても楽しかったです。Book 3の物語も楽
♪ しみですね。4月からは3年生です。素敵な先
♪ 輩、素敵な最上級生として良いスタートが切れ
♪ るように、春休み中に自分や学年の目指す姿を
♪ しっかりイメージしましょう。

♪ * * * * *

* * * * *

・ 井上誉士先生

* 1年間とても楽しかったです。自分は中学3
* 年生になるときに関西から九州の方に転校を
* しました。時がたち、大学4年生のときに、転
* 校前の友達と遊びました。8年ぶりに。

* だから、みんなとは、いつか、またどこかで、
* ご縁があるかも。みんな元気で。(‘ω’)ノ

* * * * *

♪ * * * * *

♪ 福田由美先生

♪ 「分子の精度をあげる」「アナログにこそ掘り
♪ 出し物あり」「TRY△NGLE」「メロスは激怒し
♪ た。」「空に吸はれし十五の心」「君には一日我に
♪ は一生」「見えないだけ」など印象的な言葉に出
♪ 会うと、自分の中に秩序が生まれたり、力が湧
♪ いたりしませんか？言葉の宝探しをしよう！

♪ * * * * *

* * * * *

・ 深谷きらら先生

* 自分の中学時代を思い出すと、3年間の中
* で中3が一番楽しかったです。今思えば、それ
* はきっと「自分ができていればそれでいい」と
* 思っていた1,2年生よりも「みんなで何かを
* 成し遂げることの楽しさ」を知ったから。ぜひ
* みんなで、いいスタートを切ってください！

* * * * *

♪ * * * * *

♪ 大澤信夫先生

♪ 今年度から使用が始まった chromebook。
♪ 理科の授業でも何度か使いました。使ってみ
♪ ていかがでしたか？PCにはPCの良さが、手
♪ 書きには手書きの良さがあります。これから
♪ の時代に合わせて、上手に使われられるよ
♪ うになりましょう。くれぐれも目を大切に。

♪ * * * * *

* * * * *

・ 青木裕介先生

* いよいよ、4月からは3年生ですね。去年入
* 学したときに、大人びて見えたあの3年生が、
* 一か月後の君たちです。そのまだ心の準備
* ができていない人、今からでも遅くない！3
* 年生として胸を張れるように、充実した春休
* みを過ごしてください。1年間ありがとう★

* * * * *

